



長野中だより

学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒
誠実で思いやりのある生徒
心身ともにたくましい生徒

令和3年 4月 8日発行 第1号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

当たり前を大切に生きる

校長 有山 博之



新しい年度が始まりました。4月は輝く季節であり、今年の桜は、入学式には葉桜となりましたが、今年も一年に一度の華やぎをそこここに披露してくれました。地域、保護者の皆様には日頃より本校学校教育の発展のためにお援助・ご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

本校は、本年度は138名の新入生を迎え、総勢439名でスタートいたしました。11名の転入教職員を迎え、新生長野中学校の船出です。本年度も本校の伝統と自主性を重んじ、脈々と引き継がれている以下のことを目指してまいります。

【学校教育目標】 「 ・よく学ぶ生徒 ・誠実で思いやりのある生徒 ・心身ともにたくましい生徒 」

の具現化を目指してまいります。そのために、

【目指す学校像】 「 よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし 笑顔あふれる学校 」

であることを維持、発展させてまいります。また、以下7つの重点目標の推進に努めてまいりますので、ご理解・ご協力お願い申し上げます。

<令和3年度 重点目標>

- 生徒の学力向上を目指したパワーアッププランの推進
- 目標（何をできるようにするか）と講ずべき方策を明確にした学習指導の充実
- 積極的な生徒指導による自己肯定感と自己有用感の醸成
- 道徳性を育成し、道徳的実践を促す指導の充実
- 充実感、満足感を味わわせる特別活動・部活動の推進
- 校区内の児童生徒、教職員、地域と連携した教育活動の推進
- 安全教育（新型コロナウイルス感染防止対策・交通安全・救急救命）の積極的な推進

ところで、「花は桜木」という言葉をご存じでしょうか。これは「花は桜木、人は武士、柱は檜、魚は鯛、小袖はもみじ、花はみよしの」と続く、古来より語られている言葉です（一説に一休宗純禅師の言葉とされています）。花だったら、人だったら何が一番？と思われるものをあげていった言葉のようですが、これは桜花や武士など、潔いものに日本人の美学がマッチするということがも表しています。実はそれ以外にも桜木は、その豪華絢爛な開花時期は1年のうちでほんの一週間程度ですが、冬の時期を初め、そのわずかな開花に向けて1年間、樹皮の裏では一生懸命にその「最高のピンク」を表現する営みが続いています。また、武士の潔さも日々の鍛錬、修行の賜物であるということです。

つまり、やがて開花するために、今、コツコツと地道な努力を怠らないことの大切さも私たちに示唆しているようです。生徒の皆さんが、「夢」を追い、やがて人としての大きな開花の時期を迎えるために、今、その時、その時の、当たり前のこと、やるべきことを確実にこなしていくことの必要さに考え至ります。私たちはそのことを重視し指導してまいります。そして、一人ひとりの「よさ とりえ 輝く個性」を大切に、日々の教育活動に全力で取り組んでまいりますので、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。